



救急活動を学びました

9月10日、救急医療週間(9月4日～10日)にあわせて、イオンモール宮崎で「みやざき救急フェア」が開催されました。ドクターカーやドクターヘリの展示、心肺蘇生法の体験、救急隊とドクターカー医師との救急活動の実演など救急活動を身近に学べる良い機会となり、多くの家族連れなどでにぎわいました。

100歳長寿を祝福しました

9月13日、市内にお住まいの100歳長寿者へ、お祝い状と宮崎の特産品などの祝品を贈り、長寿を祝いました。また併せて、内閣総理大臣と県知事からのお祝い状や記念品をお届けしました。今年度、100歳を迎える人(大正5年4月1日から大正6年3月31日までに出生)は市内に118人おられます。

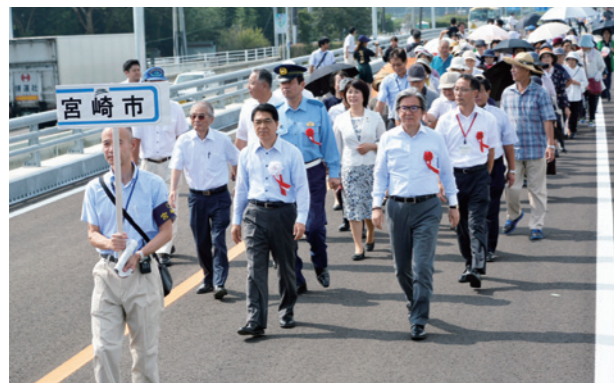


Miyazaki Topics

宮崎市“みやとピ”旬の話題

宮崎市と新富町を結ぶ橋が完成しました

9月16日、新「日向大橋」が完成し、現地で完成イベントが開かれました。新橋は、全長約600メートルで車道2車線と歩道が設けられています。イベントでは、関係者約200人が渡り初めをし、橋の完成を祝いました。平成29年度中には、旧日向大橋と合わせて4車線通行となる予定で、渋滞緩和や物流が強化され、経済の活性化につながる事が期待されます。



プロ野球ファーム日本一が決定しました

10月1日、プロ野球ファーム(二軍)の日本一を決める「ファーム日本選手権」がKIRISHIMAサンマリスタジアム宮崎で開催されました。昨年に引き続き、宮崎でキャンプを行う福岡ソフトバンクホークス vs 読売ジャイアンツの一戦となり、会場は多くの来場者でにぎわいました。試合は読売ジャイアンツが勝利し日本一となりました。

↓昭和44年11月号が電子書籍で読める!



今回の旅行先
昭和44年11月
火に備えて怠りなく

今回発掘するのは、昭和44年11月号の「火に備えて怠りなく 消防車36台がつねに待機」です。昭和42年度から消防力整備5か年計画を立て、毎年消防車などを増強し、さらに消火栓を増やしました。

※QRコードの読み取りには、アプリ「QR・JANコード読み取りリーダー」を推奨しています。



宮崎市を守る消防車両



化学車

水による消火が困難な油火災や車両火災、航空機事故などの重大な危険物火災に対応する車両です。



はしご車

当時は、はしごの長さが18メートルしかなく、6階以上の建物には届きませんでした。現在は30メートルあり、10階建ての建物で救助や放水活動ができます。



救助工作車

救助活動に必要な多数の資材を積載し、火災や自然災害の現場などで活躍します。当時はなかった車両です。



消防局では、消防車両や消防資機材の整備に努めています。また女性職員の採用や、人材育成にも力を入れており、複雑多様化する災害に対応できる体制の充実を図っています。市民の安全を守るため、職員一丸となり災害に備えていきます。

消防局警防課主任 崎田 晃司

宮崎市の主な消防車配備状況

ポンプ車	4台	救助工作車	2台
タンク車	8台	補給車	1台
はしご車	2台	救急車	13台
化学車	2台		

火災を防ぎましょう!

[問]消防局予防課 ☎32-4904 FAX27-8675

火災から命を守る7つのポイント

- 3つの習慣**
 - 寝たばこは絶対やめる。
 - ストーブは燃えやすいものから離れた位置で使用する。
 - ガスこんろなどから離れるときは必ず火を消す。
- 4つの対策**
 - 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
 - 寝具、衣類、カーテンからの火災を防ぐため、防災に対応したものを使用する。
 - 火災を小さいうちに消すため、住宅用消火器などを設置する。
 - 高齢者や身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

これからの季節には注意が必要です

11月9日から15日まで、「秋季全国火災予防運動」が実施されます。これから冬にかけて、空気が乾燥し、火災が起こりやすい季節となりますので、火の取扱いには充分注意しましょう。

